

審議会等の会議結果報告

| | |
|------------|---|
| 1. 会 議 名 | 第1回 松阪市社会教育委員会議 |
| 2. 開 催 日 時 | 令和元年6月14日(金) 午前10時～午前11時45分 |
| 3. 開 催 場 所 | 松阪市教育委員会事務局 2階教育委員会室 |
| 4. 出席者氏名 | (委 員) ◎梶間裕司、小坂滋子、岡田辰也、亀田孝子、駒田具夫、 床呂さや子、榎井慎、西川弘規、西村友志、堀口信男、森本小百合、渡邊幸香 《◎委員長》 (事務局) 中田教育長、青木局長、伊藤局次長、中西教育総務担当参事兼教育総務課長事務取扱、藤武公民館マネジメント担当参事兼生涯学習課長事務取扱、刀根スポーツ振興・国体担当参事、中林飯南飯高コミュニティ・スクール担当参事兼西部教育事務所長、高橋学校教育課保健・体育指導主事、尾崎学校支援課長、小泉学校支援課子ども安全・安心担当監、大辻子ども支援研究センター所長、永田松阪公民館担当監、松林スポーツ課長、伊藤中部台管理事務所長、前出国体推進室長、熊野国体推進担当監、上山給食管理課長兼松阪市学校給食センターベルランチ所長、本田北部教育事務所長兼松阪市嬉野学校給食センター所長、生涯学習係 |
| 5. 公開及び非公開 | 公 開 |
| 6. 傍 聴 者 数 | 0人 |
| 7. 担 当 | 松阪市教育委員会事務局 生涯学習課 TFL 0598-53-4396 FAX 0598-26-8816 e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp |

○協議事項・議事録
別紙参照

令和元年度 第1回松阪市社会教育委員会 会議録（要旨）

○日時：令和元年6月14日（金） 10時～11時45分

○開催場所：松阪市教育委員会事務局 2階教育委員会室

○議題

1. 委嘱状交付
2. あいさつ
3. 自己紹介
4. 委員長、副委員長選任
5. 松阪市「小さな親切」運動推進本部役員の選出
6. 協議（報告）事項
 - (1) 令和元年度教育予算について
 - (2) 地域の教育力活用推進事業（コミュニティ・スクール）について（学校支援課）
 - (3) 三重とわか国体・三重とわか大会準備事業について（国体推進室）
 - (4) フルマラソンの大会概要について（スポーツ課）
 - (5) 松阪公民館の現状について（松阪公民館）
7. その他
 - (1) 松阪声かけプロジェクトについて
 - (2) 公民館と地域組織のあり方について
 - (3) その他

○出席者：梶間委員長、小坂副委員長、岡田委員、亀田委員、駒田委員、床呂委員、

檜井委員、西川委員、西村委員、堀口委員、森本委員、渡邊委員

○欠席者：高瀬委員、平岡委員、廣地委員

◆ 議事

(1) 令和元年度教育予算について

委員 小学校のことをお話させていただきます。放課後児童クラブというのは、誰でも入れる、学童ということではないのでしょうか。

事務局 学童というところで、保護者の方がお仕事をしてみえる小学校の子どもたちということになっております。

委員 両親は仕事もしているのですが学童にいておりません。学童の子どもたちは運動場を使うことができるのですが、一般の子どもたちは運動場を使うことができない。そのためにどういうことをしているかという塾に通ったり、友達の家で自転車で遊びにいたりして放課後の生活をしています。見ておりますと車が非常に通っておりますので、自転車で子どもたちが遊んでいる姿は非常に危険です。私も注意をしたり、並走して子どもたちに注意をしていますが、学童という場所は必要だと思います。働く方への支援がきちんとできて親は働けるとは思います、それに対して一般の子どもたちに不利益、兼ね合わせて考えていただきたいと思っております。

事務局 放課後等の子どもたちの活動については、どのように対応していくかについては関係者等で協議した上でということになっておりますので、お聞かせいただいた内容は学校の方にも話をさせていただき、子どもたちにとっても望ましい形で活動ができるようにこちらの方でも調整させていただきたいと思っております。

(2) 地域の教育力活用推進事業（コミュニティ・スクール）について（学校支援課）

委員 学校の方からも地域のお助け願いたいということでミシンとか読書サポートとか見守り等させていただいた中で、2年前から始まったのが家庭科サポートというのがあるんです。まず玉どめができないミシンに針を通すことができない。先生1人に生徒30人だと危ないからということで、65歳以上の方で私もなにかできないかなという方へ自治連合会や公民館からお話しいただき、包丁の使い方で輪切りとか千切りをするのに持ち方すら知らないのも一緒に教えて欲しいということで行った。また来年も行きたいという方がいて、お声がけのお声がけが輪になって地域の方も元気がもらえます。学校は助かりますと言っておりますが、私達も勉強もさせてもらってますし、地域もどんどん元気になってつながっ

て輪になっていければと考えています。

委員 コミュニティ・スクールというのはこの会議でも何回も聞かせていただいて、私も社会教育委員をさせていただきながら実際はどういうものかわからないです。昨年度、県の方の研修に行かせていただいて松阪にコミュニティ・スクールの推進委員がいらっしゃるということを初めて聞かせていただいて、委員をさせていただきながらも、会議に出させていただくと社会教育委員として関わりを進めていけないといけないという風に思うんですけど、実際に関わっている方は現実味があり、わかっていらっしゃると思いますが、私たちは何も知らなくて、では私たちはどのように動いていったらいいのかなという、この場としての動き方がわかっていないのです。できれば鎌田中の現状はどういうことになっているのかまたお聞かせいただきたいと思います。あとは委員の中でどのようにしていけばいいのか自分たちの課題としたいのでまた教えていただきたいと思います。

事務局 懸案事項にも載せましたが、コミュニティ・スクールという言葉自体が耳には残るんですが、やはり具体例を示し、丁寧に説明させていただくことによって、こういうことなんですねとお分かりいただけることも多い活動になります。広く市民の皆さん、保護者、地域の方にこういうものなんだという風に周知していくことについてはこちらの課題かなと思っております。今コミュニティ・スクールを進めるにあたっては、広く知れているわけではないということで研究期間という期間を設けさせていただいて、今後コミュニティ・スクールになろうという学校には地域や保護者向けに説明会を行ったりしてコミュニティ・スクールを進めています。特に進めていただくにあたって地域には地域の活動があります。徳和小ですと、TOSSの会という会がありますので、参加していただいたり、自治会等地域のどういった方に入っていただくのがいいのかということを学校に合わせて情報収集しながら進めております。鎌田中では中学校区で連携した取組が大事だということで、各学校はコミュニティ・スクールになっているのですが、代表の方が集まらせていただいて鎌田中校区としての方向性を決めていくといった取組を特徴として進めております。特に鎌田中としては、校舎の建築もありましたのでそういったコミュニティ・スクールの方にも参画していただきながら建築していくといった取組も進めております。飯高中学校区ですと、地域との連携をより深めたものあるいは、地域の道の駅等に中学校の方から入るようにして自ら地域づくりに参加していくといったような取組などしております。また現状の資料等準備できましたらご案内もしていきたいと思います。

事務局 コミュニティ・スクールということで仕組みの話はあったのですが、どこの小学校や中学校でも地域の方々に入っていて登下校の安全の見守りなどでお世話になっております。コミュニティ・スクールと何が違うかということ、学校からこういうことお願いできませんかということだけでなく、学校と保護者と地域でこういう子どもに育てほしいという子ども像を描き、それぞれの役割に応じて取組を進めていきます。具体的には、学校、家庭、地域から委員が選出され、定期的に情報交換しながら学校でこんな取組をしていけばいいか、地域に出てどんな活動をすればいいのかという議論をし、双方向で具体的な取組を進める仕組みがコミュニティ・スクールと考えていただけたらと思います。

事務局 生涯学習でも学校の中に地域開放型図書館というのを今進めております。天白小学校に初めて開放型図書館をさせていただきました。現在は図書館のない飯高地域にもつくるよう進めております。地域の方のご協力もいただきながら進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

委員 現状いろんな学校でコミュニティ・スクールを進めていただいております、いろんな声をいただいております。PTA が本来担う役割ですのでありがたいですし、積極的に進めていきたいと思っております。その中で役割として PTA の方がはずれてしまっているということあたりして、地域の方にリーダーシップをとっていただいているところもあり、コミュニティ・スクールの中でどのようなことをすればいいのかのわかりづらいという意見も多く、1つ1つ確認させていただきたいと思っております。また学校と地域になっているところを保護者と地域の関わりも推進していくべきではないかと思っております。保護者もなかなか時間がとれない中でコミュニティ・スクールがあることで会議が多くなっているということもあるのでスケジュール等一度 PTA の意見が言える場も作っていただけるとありがたい。今後のスケジュールもまた把握させていただきたいと思っております。

事務局 学校、地域、家庭が協力していきたいと思っておりますので、三者でやっていけるよう改めて確認していきます。
今後のスケジュールについては、各地域や保護者の方の理解を得ながら進めていきたいと思っております。

(3) 三重とこわか国体・三重とこわか大会準備事業について（国体推進室）

委員 松阪市を PR する上でも大事な事業だと思いますのでまたよろしくお願いします。

(4) フルマラソンの大会概要について（スポーツ課）

委員 競技はもちろんいろんな面でかなりのスタッフが必要になると思われるがどれくらい見込まれているのか。

事務局 現在交差点の数等に何人いるのか警察等とも協議しながら進めているところでございますので、きちんとした数字はでていませんが同規模のフルマラソンの視察をしていると2000～3000人を考えております。たくさんボランティアが必要となりますので、皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

委員 せっかくの事業なので松阪全体で参加できるような募集方法等にさせていただきたいと思います。

(5) 松阪公民館の現状について（松阪公民館）

意見なし

◆その他

(1) 松阪声かけプロジェクトについて

委員 特に横断歩道のところ、歩行者優先で子どもたちには声かけが浸透しておりますが、車の方が止まってくれないことがあるので、子どもたちには車が通ってからもしくは車がきちんと止まってからと教えないといけないのではないかと思います。

(2) 公民館と地域組織のあり方について

意見なし

(3) その他

委員 今後65歳以上の方は増えてなり、生涯学習の場はこれから本当に必要になってくるのではないかと思います。そうした場が保証されていくようお願いいたします。

以上